



第291号別冊

【北水オリジナルグッズ販売予定のお知らせ】

皆様もご存知の通り、近年、様々な種類の北海道大学オリジナルグッズが製作され、大学生協などを通して販売されております。この度、水産学部におきましても北水オリジナルグッズの販売を計画し、その試作品が完成しましたので、ご紹介いたします。

水産学部では、かつてカッターボートを使用した講義科目がありましたが、特設専攻科の廃止と学科改組に伴い、姿を消しました。また、木製カッターの老朽化や維持が困難であったため廃船となりましたが、その後、有効に利用する方法のひとつとして北水オリジナルグッズの作成を検討してきました。

この度、カッターボート体およびオールの木材を利用して、いくつかの試作品が完成いたしました。写真でご紹介しているオルゴール、ペンたて、ペントレー、ペーパーウェイト、ワインスタンド、名刺入れなどについては、来春の販売を予定しております。オルゴールは、都ぞ弥生、水産放浪歌、北晨寮逍遙歌をそれぞれ収録した3つのバージョンを製作予定です。

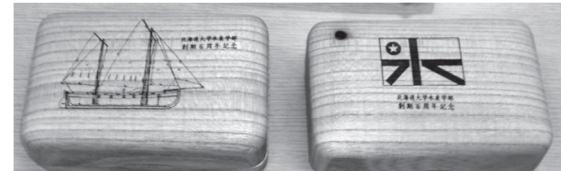
いずれも材料の性質上、限定生産となります。価格は現在のところ未定です。また、写真は試作品のため、一部仕様の変更などがある場合がございます。発売時期は来春を予定しております。



ワインスタンド



オルゴール



名刺入れ



ペンスタンド



ペントレー



ペーパーウェイト



ペントレー



【二五会（昭和25年増殖卒）東京に集う】 唐澤 康（25ゾ）

毎年集まって絆を深めてきた二五会は平成20年も4月14日から2泊3日の日程で東京を舞台に開催しました。前日からの雨も集合時間の14日午後2時にはすっかり晴れ上がり絶好の日和の中、港区の日の出桟橋に17名が集合しました。上河兄と岸本兄の奥様が急に体調を崩し残念ながら不参加となりましたが後期高齢者医療保険の対象者とは思えない全員元気な姿に同慶を禁じえませんでした。日の出桟橋から水上バスで隅田川にかかる10余りの橋をくぐり、両岸に林立する高層ビルに圧倒されながら40分ほどの船旅を楽しみ浅草に上陸。手荷物を一旦ホテルに預けた後、仲見世や浅草寺界隈を散策し、宿泊先の浅草ビューホテルで6時から会食。はじめに昨年亡くなった佐々木健氏の冥福を祈って黙祷、広崎氏の乾杯の音頭で宴に入りお互いの近況や戦後の食糧難にあえいだこと、実入りのよかつた沖仲仕のアルバイトなど学生時代の思い出話にアット言う間に2時間が過ぎお開きになりました。2日目はバスで都内観光し、皇居前で記念撮影、今年で閉鎖される東京タワーに上り、午後から国立演芸場で寄席を観賞しました。前座の落語にはじまり漫才、漫談、曲芸と時を経るにつれて場内は笑いの渦に包まれました。特にトリの桂歌丸は貫禄に加え裏打ちされた芸で場内を笑いの頂点にまきこみ人々を魅了しました。4時過ぎに幕があり、余韻を胸に宿泊する虎ノ門パストラルホテルに向かいました。6時から会食、岸本氏の乾杯の音頭で宴は始まりました。往年の酒豪もこの年になると嗜む程度で、量も減り和気あいあいの中で談笑し、広崎氏から来年の開催を北海道と言う提案があり了承されました。



翌朝、朝食後散会となりましたが別れがたいのかテーブルを囲んで話し込むグループや計画してきた箱根観光や美術館巡り、史跡巡り、ショッピングを実行するため早々にホテルを後にした人など三三五五の解散になりました。

参加者は、岸本不二夫、小林哲夫夫妻、高杉勉夫妻、高杉新弥、鈴木政雄、廣崎芳次夫妻、渡辺慧二夫妻、山代昭三夫妻、竹澤浩夫妻、唐澤康夫妻の17名でした。

【森田健太郎氏が第12回日本生態学会宮地賞を受賞】 北川大二（49ギ）

森田健太郎氏（平9ギ）が第12回日本生態学会宮地賞を受賞されました。授賞式は平成20年3月16日に福岡市で開催された日本生態学会第55回大会において行われました。

日本生態学会は、生態学の進歩をはかることを目的とする学会で、宮地賞は生態学の進歩に大きく貢献された故宮地伝三郎先生に因んで設けられた賞で、生態学の優れた業績を挙げた若手会員に与えられるものです。

森田氏は、平成9年に北大水産学部漁業学科を卒業後大学院へ進学し、北海道の河川におけるイワナの生態に関する研究に取り組まれ、河川に建設されている砂防堰堤がイワナの個体群に早熟化の進行と回遊性の喪失などの影響をもたらすことを明らかにしました。また、コンピュータシミュレーションによって、砂防堰堤建設の30年後からイワナの絶滅リスクが増大することを予測しました。これらの研究成果は生態学会誌や海外の一流の学会誌にも投稿し、主要な論文20報の被引用回数は170回以上に達しており、サケ科魚類の保全の重要性を科学的にアピールし続けた彼の研究活動は高く評価されています。

平成15年に独立行政法人水産総合研究センター北海道区水産研究所に任期付研究員として採用されてからは、調査船による海洋生活期のサケマス類の資源研究とともに、サクラマスの河川における生態の研究も進められています。川から北洋海域まで回遊するサケマス類を追う研究活動は、新たな境地を開拓されるものと思われます。今後のさらなる活躍が期待されているところです。

【七重浜絆の会】 金谷佳代士（25 ギ）

昭和 25 年卒漁業科の集まりを母校の創基 100 周年の記念式に合わせ、新緑の色増す昨年 5 月 25 日、18 名の出席を得て、湯の川温泉「一の松」で行いました。

思えば我々の集まりも卒業以来これが 23 回目、北は札幌、小樽、南は長崎と全国を駆け巡って行われ、その都度、地元の旧友のキメ細かな配慮で、設営から、翌日の観光まで楽しく過ごすことが出来ました。

然も、七十路も近づいた頃から、「そろそろ解散」という声も出ましたが、逆に盛り上がり、この 10 数年は殆んど毎年の開催となりました。

会場の「一の松」も今回が 3 度目、道産の魚料理、特に新鮮な生ウニ、イカさしは好評で、恒例になった二次会迄、長時間に亘って歓談、元気で再開できた喜びを分かち合いました。翌日は、朝食後、母校の式典に参列する数名を見送り、再会を約束して別れました。

- 前列左より

金谷（夫）、八谷、八谷（夫）、半田（夫）、青木（夫）、鈴木

- 中列左より

半田、野田、浅見、星、本間、

小沢、須佐

- 後列左より

手塚（遠漁）、赤根、金谷、青木

北大水産学部七重浜絆の会様



【北水富山県支部総会報告】 北水富山県支部事務局 渡辺 健（59 ギ）

約 2 年ぶりの開催となった富山県支部総会には、竹長支部長（34 工）をはじめ 13 名が集い、誰しもが多忙であろう年度末の 3 月 29 日に敢行されました。会場は同窓の浜井君（62 食）がオーナーとして切り盛りする居酒屋「味処浜昌」を選びました。富山県支部は総勢 40 名程度の会で、勤めが役所や学校等が多いため、通常ならば殆どがおなじみの顔という会になるところ、今回は転入、新採、新規発掘やらで、初顔の同窓 5 名に参加いただき、嬉しい限りでした。また、平成年代卒の支部会員も徐々に増え、新旧交代の様を呈してきています。これもまた喜ばしいことあります。

総会は竹長支部長の挨拶で始まり、昨年開催された北水 100 周年記念行事の報告を受けながら、自己紹介や近況報告などで和気藹々と進みました。

木島先輩（33 工）の結びの挨拶の後、岡崎先輩（45 ギ）の前口上にて「都ぞ弥生」を放歌高吟し、次回の再会を約しつつ、お開きとなりました。



- 前列左から浜井（62 食）、中川（50 ソ）、竹長（34 工）、木島（33 工）、岡崎（45 ギ）、

- 中列左から大場（H11 生生）、山崎（H5 ソ）、内山（53 ギ）、野沢（53 ギ）

- 後列左から渡辺（59 ギ）、井上（H8 ギ）、水田（H16 応生）、大黒（62 食）

第88回北水同窓会定期総会報告 務務部幹事 水田 浩之 (61ゾ)

第88回北水同窓会定期総会が平成20年5月24日(土)15時30分から東京虎ノ門パストラルを会場に開催された。総会に先立ち、高橋是太郎副幹事長(50食)から「北海道大学水産学部近況報告－研究及び地域貢献面よりー」と題する講演があり、北大水産学部を取り巻く状況と様々な研究活動等などが紹介された。次いで、下村政雄氏(41ゾ)から「MELジャパン認証取得について」の題目で、マリン・エコラベル・ジャパン審査の背景とその詳細についての講演があった。4月から審査を開始した現状など大変興味深いお話を聞くことができた。

総会は、下村政雄氏(41ゾ)による総合司会の下、横山清会長(35工)から同窓会の強い結びつきへの感謝と今後の北水同窓会への期待が述べられた。続いて、原彰彦名誉会長(46ゾ)から挨拶があり、昨年開催された北海道大学水産学部創基100周年記念事業に対する会員の皆様へ謝辞が述べられた。次いで、鉢木和三氏(38ゾ)を議長に選出して議事に入った。



講演会

先ず、議案第1号平成19年度事業経過報告及び会計決算報告について、高橋是太郎副幹事長(50食)から一般経過報告の後、本部各幹事による報告があり、これらが一括して承認された。



総会会長挨拶

次に、平成20年度役員改選案と第89回定期総会開催地を札幌市とする提案があり、これが承認された。これにより次回(第89回)開催地は正式に札幌市に決定した。続いて、平成20年度予算案について各幹事から説明・提案があり、承認された。下村政雄氏(41ゾ)による閉会の挨拶により総会は滞りなく終了した。

東京支部総会を経て、午後5時45分頃から行われた懇親会は、96名の会員が一堂に会し、鈴木賢一東京支部長(36セ)の開会の挨拶で始まった。司会進行は、東京支部幹事長の下村政雄氏(41ゾ)が務めた。参加者で最長老にあたる神山茂郎氏(19セ)の乾杯に引き続き、東京支部から札幌支部への総会開催支部・引継ぎセレモニーが行われた。竹長公彦氏(34工)から、おしゃろ丸にまつわる感動的な話をしていただいた後、松尾英彦氏(41ギ)の音頭で逍遙歌を、次いで岩井弘光氏(57ギ)の音頭で「都ぞ弥生」を一同で合唱し、会場の盛り上がりも最高潮に達した。楽しいひと時はあつという間に過ぎ、名残惜しい中、幹事長の閉会の挨拶で終宴となった。



寮歌合唱

第88回総会並びに懇親会開催にあたり、総会案内や会場の準備に多大なご尽力を頂きました鈴木賢一東京支部長(36セ)、下村政雄東京支部幹事長(41ゾ)をはじめとする東京支部幹事の皆様、総会に参加された会員の皆様に心より感謝申し上げ、総会の報告と致します。

総会出席者 95 名 (卒業年順、敬称略)

神山 茂郎	(19 セ)	畠地 清信	(40 ゾ)	加藤 秀子	(52 食)
田村 龍彦	(23 ギ)	廣瀬 靖則	(40 ゾ)	山田 了教	(53 ギ)
臼田 正臣	(23 セ)	真嶋 俊平	(41 ギ)	福田 研二	(54 ギ)
山崎 善種	(23 セ)	松尾 英彦	(41 ギ)	石田 浩平	(54 食)
生田 博司	(23 セ)	鶴田 地彦	(41 イ)	佐藤 清栄	(54 食)
安井 敬一	(24 イ)	野村 泰造	(41 イ)	荒木 隆夫	(54 化)
荒木 道雄	(24 セ)	佐藤 嘉博	(41 セ)	白井 曜	(54 ゾ)
高橋 大	(24 セ)	下村 政雄	(41 ゾ)	辻 信之	(55 ギ)
圓中 八郎	(24 ゾ)	青木 秀昭	(42 ゾ)	岩井 弘光	(57 ギ)
廣崎 芳次	(25 ゾ)	関 伸夫	(42 修化)	神頭 一郎	(58 ゾ)
小泉 守	(32 セ)	軽部 巧	(43 イ)	山田 陽巳	(58 ゾ)
吉村 正昭	(32 セ)	仲谷 一宏	(43 ゾ)	黒田 哲弘	(59 食)
竹長 公彦	(34 イ)	大場 清昭	(44 ギ)	前田 裕之	(60 食)
横山 清	(35 イ)	藤井 真一	(44 イ)	西本 真一郎	(61 食)
西川 雄造	(36 セ)	入江 和彦	(45 ギ)	水田 浩之	(61 ゾ)
中村 寿	(36 ギ)	築田 満	(45 化)	矢本 諭	(62 ギ)
池田 清哉	(36 イ)	佐々木 徹	(46 食)	山崎 浩司	(平 2 食)
石川 光男	(36 セ)	原 彰彦	(46 ゾ)	金澤 建支	(平 2 食)
古東 宣勝	(36 セ)	関 清三	(47 化)	釜谷 明	(平 3 食)
佐々木 君男	(36 セ)	竹田 信一	(49 食)	山田 正克	(平 4 ギ)
鈴木 賢一	(36 セ)	高野 富輝夫	(49 化)	山本 潤	(平 5 ギ)
角田 靖雄	(36 セ)	小原 隆夫	(49 ゾ)	樋口 智之	(平 6 ギ)
平野 勇夫	(36 ゾ)	志村 謙介	(50 ゾ)	竹川 徹	(平 6 ギ)
町田 建治	(36 ゾ)	品治 二郎	(50 ゾ)	小杉 哲也	(平 7 食)
深谷 勲	(36 セ)	高橋 是太郎	(50 食)	久保田 真	(平 9 ギ)
阿部 将	(37 セ)	菅原 謙二	(51 ギ)	折出 真一	(平 10 ゾ)
中田 邦雄	(37 セ)	伊藤 隆宏	(51 食)	奥田 律子	(平 14 資)
内田 奎司	(37 ギ)	木村 郁夫	(51 食)	中林 裕輔	(平 16 資)
鉢木 和三	(38 ゾ)	中村 雅彦	(51 食)	松倉 広平	(平 16 資)
遠山 明	(39 ギ)	吉田 仁	(51 食)	千木良 充	(平 17 海)
千葉 茂春	(39 セ)	浜谷 一郎	(51 化)	櫛山 大輔	(平 18 海)
小林 正昌	(39 ゾ)	道下 善明	(52 ギ)		

受付名簿上で確認した方のみを掲載しております。漏れた方にはお詫び申し上げます。

【平成19年度北水同窓会小樽支部総会】北水同窓会小樽支部幹事長 平山 聰 (54才)

連日の寒波と降雪もようやく一息ついた2月22日、北水同窓会小樽支部総会が、市内「潮亭」で開催されました。今年は、例年を上回る23名が参加し、活動報告、会計報告、次年度役員選出など、一連の議事を終了し、懇親会へと移りました。初参加のメンバーもあって、近況報告など和気あいあいのうちにあつという間に時間が過ぎ、来年度の再会を約して解散しました。また、今回の議事録や写真などは、参加されていない会員の皆様に送付し、総会の様子をお知らせしました。来年度は、是非多くの皆様に参加していただきたいと思います。

- 前列向かって右より -

藤田征晴 (31才) 勝木 茂 (31才)

工藤 豊 (23才) 小田一夫 (45才)

東 廣 (29才) 高山裕斌 (36才)

- 2列目向かって右より -

山本貞夫 (46才) 斎藤博行 (47才)

渡辺忠良 (39才) 川嶋孝省 (38才)

桜庭啓恭 (46才) 山本十三 (H3才)

平山 聰 (54才)

- 3列目向かって右より -

柴田耕一郎 (H7才) 安達泰之 (H11海)

松浦光紀 (44才) 高野幹男 (45才)

五十嵐映児 (48才) 赤川晃一 (45才) 古賀英裕 (H10才) 堀井亜希 (H9食)

- 最後列向かって右より -

梅崎真大 (H10才) 平沼裕康 (62才)



【八紘会～関東地区会の報告～】土屋 要 (17才)

四月二十九日、横浜の崎陽軒で開催しました。この日が天長節と言はれている時から毎年やってきた。参加者は十分の一に減ったけれど、これ程長続きするとは想定外です。これと言った話題はありません。勝手に喋って、勝手に食べて、勝手に飲んで、それでいいんです。顔を見るだけでいいんです。

焼津からやってくる清水君は参加者に元気の素をくれます。矍鑠たる老人とは彼のためにあるような気がしてなりません。最後の一兵迄やるんだと言い続けている新井邦夫君が、ぎっくり腰で欠席しました。小泉、藤本両夫人の出席もあって楽しい会でした。八紘も八紘一字も辞書から消えました。

時代の証としてこの会を大事に続けたい。

本日の出席者は、青戸、島崎、清水、小泉直子、藤本ふみ、土屋でした。

会員異動

(昇 任)

2008年1月1日 大学院水産科学研究院 教授 関 秀司 (同准教授より)

2008年2月1日 大学院水産科学研究院 教授 澤辺智雄 (同准教授より)

2008年4月1日 大学院水産科学研究院 准教授 山口 篤 (同助教より)

(定 年)

2008年3月31日 池田 勉 (大学院水産科学研究院教授)

2008年3月31日 志賀直信 (大学院水産科学研究院教授)

2008年3月31日 岩森利弘 (北方生物圏フィールド科学センター助教)

学位取得者

(2007年12月25日)

- 津田 裕一 繁殖期におけるシロザケの行動計測手法と応用に関する基礎的研究
阿部 茂 水産加工における加熱水蒸気の応用に関する研究

(2008年3月25日)

- ミランダ トレス リチャード マルセロ Aquaculture of the Neptune whelk *Neptunea arthritica* oriented to the recovering of depleted populations around Hokkaido, Japan (北海道周辺のヒメエゾボラ資源の回復のための水産増殖)
木元 愛 Validation of Common Beliefs in Fisheries Management using Meta-analysis (水産資源管理における通説の妥当性に関するメタアナリシス)
舞木 昭彦 Adaptive Community Dynamics-understanding through a theoretical approach (生物群集の適応的動態についての理論的研究)
木所 英昭 気候変化に対するスルメイカの日本海での分布回遊変化と資源量変動に関する研究
谷全 尚樹 北太平洋亜寒帯域におけるコヒレハダカ *Stenobrachius leucopsarus* の生活史と生態に関する研究
松本 経 育雛期におけるネオミズナギドリの長、短距離採食戦略と海洋環境との関係
山下 麗 北太平洋におけるプラスチック汚染と海鳥への影響に関する研究
ムッチーナ アハマド ムスターファ Integration of remote sensing and geographical information system (GIS) for Monitoring the Marine Environment of Scallop Farming area in the Okhotsk Sea (衛星リモートセンシングと地理情報システム (GIS) のオホーツク海におけるホタテガイ増殖海域の海洋環境モニタリングへの統合的利用)
清水 幾太郎 The Effect of Sea Ice on the Oceanographic Structure and Phytoplankton Biomass in Nemuro Strait, a Nursery Area of Salmon (海氷が根室海峡の海洋構造と植物プランクトン現存量に与える影響に関する研究)
佐藤 千鶴 噴火湾の内部ケルビン波
トウキマット リハン Satellite-observed spatial and temporal variability of Tokachi River plume and its impact on primary productivity along eastern coast of Hokkaido (衛星観測による十勝川河川水プリュームの時空間変動特性とその北海道東岸沿岸域の基礎生産への寄与)
須賀 友大 魚類の聴性誘発反応に関する基礎的研究
金 成勲 選択的漁獲のためのエビ籠の設計要因に関する基礎的研究
松岡 敦 Bio-optical characteristics of the Arctic Ocean: Application to an Arctic Ocean Color Algorithm (北極海における海洋光学的特性：北極海に適応可能な海色アルゴリズム開発への応用)
若山 賢一 刺網の網目選択性に基づくハタハタの漁獲死亡係数の推定と漁業管理への応用のための基礎的研究
荒砥 真吾 魚油中に生成する共役型高度不飽和脂肪酸に関する研究
小西 いずみ ホヤ由来カロテノイドの抗癌及び抗炎症作用の解明
前多 隼人 フコキサンチンの抗肥満効果に関する研究
植木 知佳 紅藻スサビノリ (*Porphyra yezoensis* Ueda) の生活環を通した細胞微細構造比較、および生殖細胞形成と発生に関する研究
桑原 浩一 クエン酸ナトリウムの多機能性を利用したスルメイカ外套膜筋肉の高度利用に関する研究
武田 浩郁 アルギン酸オリゴ糖修飾によるシロザケ筋肉タンパク質の食品素材化に関する研究
金 尉植 Establishment of enzyme-linked immunosorbent assay (ELISA) system to detect specific antibodies against infectious hematopoietic necrosis virus (IHNV) (サケ科魚類の伝染性造血器壊死症ウイルスに対する抗体検出 ELISA 法の確立とその応用に関する研究)
清水 智子 抗ウイルス活性を有する魚類腸内細菌を用いたヒラメのウイルス性表皮増生症の制御に関する研究
ムハマド イクバル イリヤス Lipids and prostaglandins in the red alga *Gracilaria vermiculophylla* (オゴノリ *Gracilaria vermiculophylla* の脂質とプロスタグランジン)

「有朋自遠方來不亦樂乎」

平成20年2月～平成20年6月、研究室を訪問された方々(敬称略)

海洋生物学（旧浮遊生物学）

河村章人(37才)、江頭琢(平19海)2/12、箕田嵩(31才)、河村章人(37才)、森岡泰啓(38才)、谷口旭(40才)、小島守之(42才)、小山章夫(42才)、田口哲(43才)、谷口和也(43才)、福地光男(46才)、平川和正(48修才)、神庭恵(47才)、斎藤和敏(47才)、関二郎(48才)、根本雄二(49才)、岩渕雅輝(50才)、谷村篤(50才)、広海十朗(50才)、雜賀修(53才)、横内克己(54才)、楼井久恵(55才)、上野俊士郎(55修才)、安倍弘(56才)、中田薰(56才)、宮園章(58才)、山田智(58才)、赤池章一(59才)、津野雅俊(59才)、伴修平(59才)、村井和明(59才)、浅見大樹(60才)、川口創(60才)、千葉洋明(60才)、石川輝(平2才)、高野敬志(平2才)、嶋田宏(平3才)、田村力(平4才)、井上武俊(平6才)、西内耕(平6才)、品田晃良(平7才)、竹内登子(平7才)、竹部優子(平7才)、坂井雄志(平8才)、竹内泰介(平8才)、李洪武(平8才修)、小計統(平8才修)、青野哲大(平9才)、大西健美(平9才)、蔵田泰治(平9才)、塩谷剛(平9才)、山田雄一郎(平9才)、宮崎和貴(平10才)、小計有里恵(平10才)、帰山秀樹(平11海)、飯嶋亞内(平12海)、亀井良則(平12海)、高橋信之(平12海)、本田征爾(平12海)、前田恵美(平12海)、池田純子(平13海)、小澤美穂(平14生)、佐野史和(平15海)、山田奈央(平16海)、金子舞(平17環境修)、服部愛(平17海)、西部裕一郎(平17生資博)、江頭琢(平19海)、清水幾太郎(平20生資博)3/14、河村章人(37才)3/26、藪熙(特別)4/4、小俣紋(平20海)5/2、岩渕雅輝(50才)5/20、内川和久(平4才)6/19

海洋微生物学（旧微生物学）

田中宏朗(平7食)2/1、田中礼士(平7食品)6/13、田中宏朗(平7食)6/26

海洋生物工学（旧水産高分子化学）

山本紗代(H16資)5/2

育種生物学・海洋産業科学（海藻）（旧水産植物学）

下村政雄(41才)5/15、赤池章一(59才)5/19、宮田昌彦(60才博)6/2-6/6、山本和人(41才)、川越力(平12生)6/11、谷口和也(43才)6/24

北水同窓会

森岡泰啓(38才)3/14、川眞田憲治(48才)、村井和明(59才)4/24

会費納入のお願い！

ご存知のように北水同窓会の会誌発行やその他の業務は全て皆様の会費によって成り立っております。

会費納入をお忘れの方は、同封の郵便振替用紙をご利用ください。また、周りに同窓生の方がいらっしゃいましたら、ぜひお声をかけていただければ幸いです。

昨年末に平成19年度版北水同窓会会員名簿が発行されました。会員名簿は年会費を納入された方に無料で配布しております。